

流行と個性

岐阜市立藍川北中学校 3年

加藤 心和(かとう みか)

皆さんは、「流行」に敏感ですか。現代に生きる若者は、当然のようにSNSを使い、流行をつくっています。その一方で、イマイチ流行についていけず、私のようにいわゆる「時代遅れ」という若者も存在しています。

ポーズや食べ物、言葉など、あらゆる場面で登場する流行。時代遅れである私は、「今、はやっているものだ」と思って使う表現が結構前のものだと、少し後になって気づかされます。「指ハート」というポーズが、はやっていると思って使うと、どうやら今は「ルダハート」らしいです。また、ファッションのはやりの色は、緑だと思っていると、実はルミナスイエローらしいのです。ルミナスって何でしょう。今の流行など、皆さんはどれだけ把握していますか。世間や学校では何がはやっているのか、私はまったく分かりません。それどころか、インスタやツイッターは何に使えるのか。LINEがあるのになぜわざわざDMでやり取りをするのか。ストーリーとは何なのか。そもそもの根源すらも分かっておらず、何度説明してもらっても未だに理解できていないのです。理解できていないのは、私だけではないと思います。

ではなぜ人々は、流行についていこうとするのでしょうか。私が思うに、それは、「人」や「社会」の特徴によるものだと思います。その特徴を大きく2つ考えました。1つ目の特徴は、人は同調したがる生き物だということです。グループの中で、みんなが同じ考えのとき、自分だけ違う考えだと気付くと、心配になって思わずその数名に考えを合わせてしまいます。その同調により、周りの人間やメディアが言っているから、自分も流行についていくという考えが生まれるのではないのでしょうか。もう1つの特徴は、人は新しいものに対する興味が大きいということです。最先端のものを取り入れたくて、新しい家電を買ったり、日付の早い食品から購入したりしませんか。言葉も毎年、新語・流行語が紹介されていますが、ずっと使うことは少ないようです。

私は、1つ目に挙げた、同調したがるという特徴が当たり前になると怖いと思いました。人はそれぞれ個性があります。でも、誰かと一緒だと安心し、みんなと違うと不安になります。みんなと一緒になくてはならないという同調は同調圧力へと変化してしまうかもしれません。そうすると、圧力が差別へ、差別がいじめへと発展してしまうかもしれません。流行には前向きで明るいイメージがある反面、流行にのれないことで、誰かを傷つけたり、差別したりしてしまう可能性も含んでいます。流行にのっているから良い、のっていないからダメという考えは違うのではないのでしょうか。

流行を追うことで、自分の世界を広げる人もいます。でも私は、無理に流行を気にせず、自分の好きなものに目を向ければ良いと、思えるようになりました。それは、漫画やアニメという共通の趣味の仲間がいるからです。価値観が一緒だと、とても心強いです。でも私は、はやりの漫画も好きです。登場人物に昔の小説家の名前がつけられている漫画があります。その漫画がきっかけで、昔の小説家の本を読むようになりました。自分の好きなことを追求していくうちに、趣味の世界が広がり、流行にとらわれなくても充実した日々を過ごせています。

結局、「流行」とは、人によって価値観の違うものであると思います。誰もが流行と上手に付き合っていくためには、「若者は流行を追って当たり前」という考えを捨てるべきではないのでしょうか。私は流行を追うことも、追わないことも、その人の大切な個性という考えで充実した日々を過ごしていきたいです。流行は巡るといいます。実は私が、流行の最先端かもしれません。